

編集後記



堀川まちづくりの会機関誌「ワカリホ」2号をお届けしました。創刊号の時にもお話ししましたが、ワカリホでは「常識をひっくり返した自由な発想で、堀 川をとらえてみたい」と考えています。お読みになって「まだまだひっくり返し方が足らないよ」と感じた方、あるいは「こんな堀川が知りたい」など、感想、要望、 奇抜なアイデア、何でも結構です。自由で、フレンドリーな気持ちを持って、ご意見をお寄せください。ホリバーも、ワクワクしながら待っていると言っています。 ワカリホに皆様のご声援を!

堀川まちづくりの会事務局





活動日記ブログ

horimachi.blog.fc2.com





www.facebook.com/horimachi

堀川の今、そして未来、歴史など、 堀川のイロイロや、アレコレなど、 「ともかく堀川を知っておきたい」 という方は、

一度アクセスしてみてください。

堀川まちづくりの会





あなたが名古屋の「生みの親」



ものしりネコさんから名古屋の町ができた時の話を聞きました。清州越しっていって、家康様の命で名古屋城を築城する時に尾張 の中心だった清州から町ごと引っ越してきて名古屋の町ができたって聞いてとてもびっくりしました。今の名古屋があるのはあなた のおかげなんですね。そして堀川もその時に名古屋の町を大きくするために重要な運河として作られたんですね。

江戸時代のリサイクル「五条橋」

清州越しのときに引っ越したなかには神社やお寺のほかに、橋 もありました。堀川七橋の五条橋(現:五條橋)もそのひとつ と言われてます。慶長十五年(1610)に架けられましたが、擬 宝珠 (ぎぼし) に 「慶長七年」と刻まれていたことから、清州の 五条川にあった橋を持ってきたのだろうと言われています。





五条橋と伝馬橋の間にあるから「中橋」

かつて橋の西側には当時の豪商たちの屋敷が 建ち並び、東側は材木商や薪・竹などを扱う 商人の店が軒を連ねるなど、江戸時代は堀川 でも一番経済活動が活発な地域だったと言わ れています。





名古屋の玄関口だった「伝馬橋

伝馬(てんま)は、江戸時代まで行われていた 人や物を馬で運ぶ交通制度のことです。垂井 (現在の岐阜県垂井町) から名古屋を経て熱 田に至る「美濃街道」の橋として架けられたこ とから、街道の交通に縁のある伝馬からとつ て「伝馬橋」と名付けられたのかもしれません ね。美濃街道と直結していたことから人の往 来が多く、堀川で最も活気のあった橋でした。



城下町の端っこ、町と郊外の境目「納屋橋

名古屋城とともに名古屋の城下町が作られたとき、町は縦横の直線で規則正しく区画 される「碁盤割」となりました。その碁盤割の南端に架けられたのが「納屋橋」です。 当時の名古屋の人は納屋橋から下流は"名古屋の郊外"のように 感じていたかもしれませんね。





Wakariha | September. 2015 「いつも心に川がある」

堀川の街ガイド2

黒川地区

川沿いに咲く桜や、友禅流しなど

堀川との触れあいを大切にしている、自然豊かなエリアです。

堀川の街ガイドは、堀川沿川の7地区それぞれの街の魅力や、 楽しみ方をご紹介する便利な手引書です。 「堀川沿いをちょっと歩いてみようかな」と思ったら、ぜひ持って行ってください。

黒川地区のアレコレ







名古屋城から矢田川手前の黒川樋門までの堀川上流のことを黒川と呼び ます。黒川樋門の北側にはかつて黒川や庄内用水などに分水するために 設けられた通称「天然プール」があり、子どもたちの格好の遊び場となっ ていました。そうした水に親しむ歴史もあって、黒川地区住民の堀川浄化 に対する思いは深く、環境デーなごやでの清掃活動や、黒川ドリーム会 も所属するクリーン堀川が主体となって、毎年春と秋に北清水親水広場 を中心とした地域の清掃が行われています。

桜並木と黒川友禅流し

黒川地区の川沿いにはソメイヨシノや八重桜、 山桜などの桜並木が整備されていて、桜の名所 となっています。また、これらの桜が咲き競う 春には、北区民まちづくり推進協議会が主催す る「黒川友禅流し」も行われ、今や多くの人々が 集う春の堀川(黒川)の風物詩になっています。





豊かな自然が残る黒川

地域の小学生を対象にして黒川の自然や生き物を観察する「黒川観察 会」を、黒川ドリーム会による主催のもと北区役所とロマン黒川の会、 御用水跡街園愛護会でサポートするなど、黒川地区では住民と黒川を 結びつける活発な取り組みが行われています。



「わたしと堀川」をテーマにした、 お気に入りの写真を送ってください。

お気に入りの風景や、ぬいどり、キャラ弁など堀川がテーマであればどんな写真でもOKです。

下記メールアドレスにお名前(ニックネームでも可)と写真タイトルをご入力の上、 写真データを添付してお送りください。 E-mail: photo@horimachi.jp

お送りいただいた写真については、堀川まちづくりの会のホームページや広報誌等にて紹介させていただくことがございますのであらかじめご了承ください



どんな生き物が

黒川地区

__ 名古屋城地区

_ 四間道地区

_ 納屋橋地区

日置·松重地区